

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2008-26575(P2008-26575A)

【公開日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2006-198710(P2006-198710)

【国際特許分類】

G 1 0 L 15/28 (2006.01)

G 1 0 L 13/04 (2006.01)

G 1 0 L 13/02 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 15/28 2 3 0 K

G 1 0 L 13/04 B

G 1 0 L 13/02 1 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月12日(2009.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音声入力デバイスを取り外し可能に接続する接続部と、
 入力された音声を認識する音声認識手段と、
 前記接続部における前記音声入力デバイスの接続状態を監視し、該接続状態が変化したときに該変化を通知するためのイベントを出力する監視手段と、
 を備え、
 前記音声認識手段は、前記監視手段から前記イベントを受信すると音声認識処理を中断し、音声認識処理に用いる動作パラメータを変更し、その後、音声認識処理を再開することを特徴とする音声処理装置。

【請求項 2】

音声出力デバイスを取り外し可能に接続する接続部と、
 音声合成を行う音声合成手段と、
 前記接続部における前記音声出力デバイスの接続状態を監視し、該接続状態が変化したときに該変化を通知するためのイベントを出力する監視手段と、
 を備え、
 前記音声合成手段は、前記監視手段から前記イベントを受信すると音声合成処理を中断することを特徴とする音声処理装置。

【請求項 3】

音声入力デバイスを取り外し可能に接続する接続部と、
 入力された音声を認識する音声認識手段と、
 を備える音声処理装置の制御方法であって、
監視手段が、前記接続部における前記音声入力デバイスの接続状態を監視し、該接続状態が変化したときに該変化を通知するためのイベントを出力する監視ステップと、
制御手段が、前記イベントを受信すると前記音声認識手段による音声認識処理を中断させ、音声認識処理に用いる動作パラメータを変更し、その後、音声認識処理を再開させる

制御ステップと、

を有することを特徴とする音声処理装置の制御方法。

【請求項 4】

音声出力デバイスを取り外し可能に接続する接続部と、

前記接続部を介して前記音声出力デバイスから音声を出力させるべく、音声合成を行う音声合成手段と、

を備える音声処理装置の制御方法であって、

監視手段が、前記接続部における前記音声出力デバイスの接続状態を監視し、該接続状態が変化したときに該変化を通知するためのイベントを出力する監視ステップと、

制御手段が、前記イベントを受信すると前記音声合成手段による音声合成処理を中断させる制御ステップと、

を有することを特徴とする音声処理装置の制御方法。

【請求項 5】

コンピュータに、請求項 3 又は 4 に記載の音声処理装置の制御方法の各ステップを実行させるためのプログラム。